

# なごや東版



行雲  
鳥居規之  
二科会

ニュース、情報は下記へ

社会部

052-231-1650・5919

Eメール

shakai@chunichi.co.jp

瀬戸支局 〒489-0809

瀬戸市共栄通4-8

0561-82-3121 Fax 82-5316

日進通信部 〒470-0113

日進市栄2-214

0561-74-2002 Fax 74-2003

春日井支局

0568-81-2036 Fax 81-2797

犬山通信局

0568-61-2612 Fax 61-2613

小牧通信局

0568-72-1177 Fax 72-6530

中日新聞へのご意見は

読者センターへ

052-221-0800 Fax 221-0819

Eメール

center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は  
最寄りの中日新聞販売店へ

## 招き猫まつり 活性化願い

絵を募ったのは社会福祉法人麦の「麦の里」、同法人くわの実福社会「かいこ」、NPO法人よつ葉「Yotsuba Factory」。三施設は例年九月に開かれる「来る福招き猫まつりin瀬戸」でブースを出して、来場者向けに頭に着ける猫耳を作っていた。まつりの活性化を願い、猫をモチーフにしたバッグを作るアイデアは、同RCの亡くなった会員の発案。遺志を受け継ぎ、今年の社会奉仕事業として、共に作ろう

瀬戸北RC

## 施設利用者から絵募る

# 猫エコバッグできた

瀬戸北ロータリークラブ(RC)が市内三方所の福祉施設利用者から募った「猫の絵」をまとめたエコバッグを作成した。絵が採用された三人に五日、賞状が贈られた。(西川侑里)



完成したエコバッグ



と施設に協力を求めた。六十四点の応募の中から会員らが審査。採用された一人

の梶田実里さん(まほ)は目が不自由だが、指に茶、赤、緑色の絵の具をつけて紙に押しつける手法で猫の顔や足跡、魚を描いた。中島里美さん、江尻亜海さんの作品も印刷された。バッグは、A4サイズ大で、計千枚を作成。各施設の利用者に配られる他、来年四月に名古屋・栄で開かれる「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」で販売する。

贈呈式では大橋孝志会長が花束、目録などを手渡した。麦の里の渡辺照子施設長が「仲間たちが自分の描いた作品が形になったらワクワクしながら一生懸命描きました」とあいさつ。梶田さんは「猫が家に敷かれたマットの上でくつろいでいるのを想像した。普段はあまり描かないけれど楽しかった」と笑顔を見せた。

記念撮影をする施設利用者  
とロータリークラブの会員  
ら「瀬戸商工会議所」で